

第46回 ご近所映画観賞会

2025.6.21

映画作品名 ローマの休日

監督：ウィリアム・ワイラー

音楽：ウォルター・タイラー

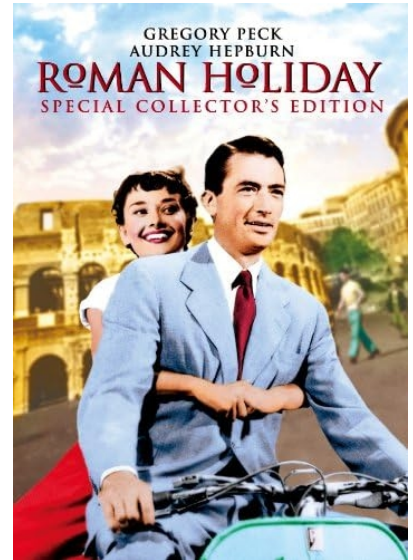
キャスト：オードリー・ヘプバーン、グレゴリー・ペック

エディ・アルバート

制作年：1954年 時間：118分

解 説

ウィリアム・ワイラーがローマに出向いて製作監督した1953年作品で、王女と新聞記者の恋愛を描くコメディ。



ストーリー

ヨーロッパの各国を親善旅行中のある小国の王女アン（オードリー・ヘプバーン）がローマを訪れたとき、重なる固苦しい日程で王女は少々神経衰弱気味だった。侍医は王女に鎮静剤をあたえたが、疲労のためかえって目が冴えて眠れなくなって、侍従がいらないのをよいことに王女はひとりで街へ出て見る気になった。が、街を歩いているうちに薬がきいてきて広場のベンチで寝こんでしまった。そこへ通りかかったアメリカの新聞記者ジョー・ブラドリー（グレゴリー・ペック）は、彼女を王女とは知らず、助けおこして自分のアパートへ連れ帰った。翌朝、彼女が王女であることを知ったジョーは、これこそ特ダネ記事をものにするチャンスと思い、ローマ見物の案内役をひきうけた。